

照陽の家だより

〒683-0812
米子市角盤町3-124-3
TEL 0859-21-8151

育て！ 人間力！

ひなたぼっこ保育園

こんにちは！いつも子どもたちを温かく見守って下さりありがとうございます。
ひなたぼっこ保育園のこどもたちは「子ども一人一人を大切に、保護者の気持ちに寄り添い、地域に愛される保育園」の理念の保育の下、すくすく育っています。日々の活動や季節の遊びの様子、生き生きとした子どもたちの表情は連絡ノートに写真を添えてご家庭にお伝えし、「癒されます」「楽しそうにあそんでいますね！」「様子がわかって安心します」と喜んで頂いています。また、そのお声が私たちの活力になっています。子どもたちは、苦手なものも「一口食べてみる」ことを繰り返すうち給食を残さず食べられるようになりました。友だちとの関わりを経験する中で自分の思い通りにならないこともあると知り、葛藤を経験しながら、自分で気持ちの切り替えができるようになってきました。そんな頑張る力を育むため、まずは朝の「おはよう」や、相手にいやな思いをさせてしまったら「ごめんなさい」と伝えることを大事にしています。そして一番大切なのは「ありがとう」です。いろいろな気持ちに気付けるようになると、人間力が育ちます。ここを大事にしながら丁寧な保育を心がけています。壁に当たっても「考えたり、工夫したり、試したりしながら、諦めずにやり遂げる折れない心を持った子どもになって」と思いを込めながら、こどもたちの成長に関わる大人たちみんな嬉しくあっていたらいいなと思います。

ひなたぼっこ保育園職員一同



プール納めで、玩具を雑巾で拭いたり、使った雑巾を干したりしている様子です。



ポウル転がし

コロナ対策を行っていますが、元気な声が響きコロナ禍を忘れそうです。



美化作業

いつも道る道路沿いの草が生い茂り、利用者様に声掛けをし一緒に草とりをしました。さすがに慣れた手つきで作業されました。協力頂きありがとうございます。



8月～9月 照陽での活動を紹介★

秋を感じる秋桜（コスモス）作り

9月の作品作りのテーマは「秋桜」。みなさん丁寧に色紙を貼り合わせて作成。玄関にきれいな秋桜畑ができました。



米子美術館「木下翠雨展」にご招待頂きました

照陽の家 訪問看護師はご自宅にお伺いし生活されている状況や地域との関わりなど把握しながら看護サービスを提供しています。ある訪問の際に担当している利用者様が所有されている作品が米子市美術館に展示される事になり照陽の家にも招待券を頂きました。それをきっかけに「では、一緒に見に行きましょう」と仲の良い利用者さんをお誘いし、外出支援をしました。感染対策に留意しながら、木下翠雨が生きた時代背景や日本画の特徴、掛け軸の事などを教わり、貴重な時間を共有させて頂きました。看護師として身体状況の安定だけでなく、何気ない訪問での一言から目的を持った外出を設定することで利用者さんの笑顔や真剣な眼差しに喜びを感じることができました。ご招待頂いた利用者様ありがとうございました！



～ お抹茶求めて 街角散歩～

日頃の何気ない会話の中に「久しぶりにお抹茶を買いに行きたいわ・・・」とのつぶやき、想いを聞く事が出来、9月とはいえ暑さがまだ残る昼下がり、利用者様と一緒に照陽の家近くにある長田茶店に出かけました。店内にてお抹茶購入後、お店の方の計らいでお茶を点でて頂き豊かな時間に満足されました。



照陽の家は住み慣れた地域において、高齢者の方、お子様、地域の方、誰もが集い、多様なサービスや活動の中で支え合う拠点です。

